

2026年3月23日
杏林製薬株式会社
UBE株式会社

新規治療薬候補化合物に関するライセンス契約の締結について

杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荻原豊、以下「杏林製薬」）とUBE株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：西田祐樹、以下「UBE」）は、UBEが創製した新規治療薬候補化合物についてライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約に基づき、杏林製薬は、本化合物の全世界における独占的な開発・製造・販売権を取得します。これに基づき、杏林製薬はUBEに対して契約一時金を支払うとともに、今後の開発から発売までの進展に応じた開発マイルストーン、一定の正味売上高の達成に応じた販売マイルストーン、ならびに正味売上高に対する一定率のロイヤリティを支払います。

杏林製薬は、医療ニーズに応える価値の高い新薬の提供を目指し、創薬研究領域として、疼痛、自己免疫疾患、神経筋疾患の3つの領域に注力しています。一方、UBEは、高度な有機合成力に支えられた化合物デザインをもとに、新しい医薬品の種となる化合物を創出しています。

杏林製薬およびUBEは今回の契約締結により、UBEが生み出した独創的な化合物と、杏林製薬の持つ研究開発の知見を融合させることで、既存の薬では十分な効果が得られない患者さんに、新たな治療選択肢を早期にお届けすることを目指します。

【杏林製薬株式会社について】

杏林製薬は「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念に基づき、医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供し、人々の健康に幅広く貢献する企業となることを目指しています。創薬面においては、創薬研究領域として疼痛・自己免疫疾患・神経筋疾患に注力しています。営業面においては呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科を中心とする特定領域にリソースを集中するFC（フランチャイズ・カスタマー）戦略を展開しています。

コーポレートサイト：<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>

【UBE株式会社について】

UBEの医薬事業は、スペシャリティ化学を志向するUBEグループにおいて、ライフサイエンス分野の中核事業となるべく、創薬研究事業においては従来の低分子医薬品の他、ADC（抗体薬物複合体）などの高付加価値創薬に挑戦しております。また、CDMO 事業では既存の低分子医薬品分野を拡充すると共に、核酸医薬品等の新規モダリティの製造技術獲得などを通じて、人々の生命・健康を守る手段を提供してまいります。

コーポレートサイト：<https://www.ube.com>

以上

<本件に関するお問合せ>

UBE株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
TEL: 03-5419-6110 Email: contact_pr@ube.com

杏林製薬株式会社 経営企画部 広報・IR グループ（菊池・宇井）
TEL 03-6374-9702